

【2018年5月26日～2018年6月1日までの推移】

【1】先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル、対円ともに小幅に上昇しました。またトルコの2年国債金利は上昇しました。

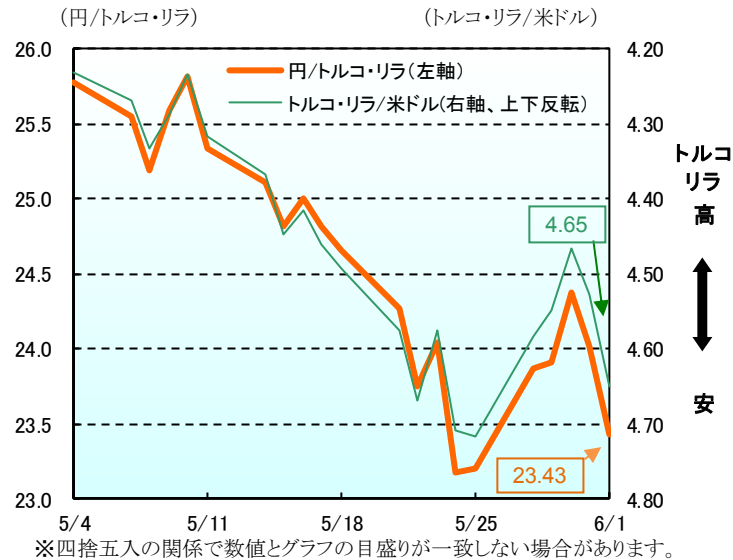
市場では前週の中央銀行の通貨安措置を受け、通貨、債券ともに買い戻しで始まりました。中央銀行は28日（現地、以下同様）に金融政策の枠組み簡素化を発表し、1週間レポ金利を主要政策金利とするとともに8.00%から16.50%に引き上げました。また、翌日物借入金利を7.25%から15.00%に、翌日物貸出金利を9.25%から18.00%に、後期流動性貸出金利を16.50%から19.50%にそれぞれ引き上げました。市場は一連の対策を好感し、29、30日はトルコ・リラ買い、金利低下となりましたが、週末にかけてはトルコ・リラは買い戻し幅を縮小させ、国債金利は追加利上げを織り込んで上昇しました。

【2】今週の見通し

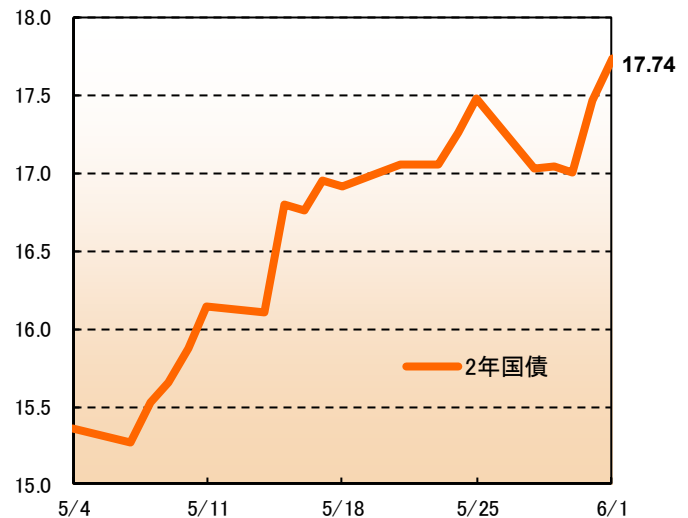
今週は、5月の消費者物価指数の発表と金融政策決定会合が予定されています。

先々週、先週と中央銀行が一連の緊急措置を行ったものの、市場では依然として不十分との見方もあり、6月1日に格付会社のムーディーズ・インベスターズ・サービスはトルコの格付けを引き下げ方向で見直すと発表しました。チェーンカヤ中央銀行総裁は、インフレが加速する場合には追加利上げを実施すると示唆した模様で、市場は追加利上げを織り込んでいます。6月7日の金融政策決定会合では、市場が納得する追加利上げが実施されるかどうか注目されます。

【トルコ・リラ 為替推移】（2018年5月4日～2018年6月1日）



【トルコ 金利推移】（2018年5月4日～2018年6月1日）（%）



（出所：ブルームバーグより大和投資信託作成）

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。■当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。■当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>